

久保 雄大

十月二十三日からもう一年もたとうとして  
います。ぼくは中越地震がおきたとき、文化  
祭の準備をしていました。一し<sup>ゃ</sup>んにして部  
屋がゴチャゴチャになっ<sup>て</sup>しまいました。そ  
のときはとてもわか<sup>っ</sup>たけど一年た<sup>っ</sup>た今  
は、こわいというよりもいい経験にな<sup>っ</sup>たな  
と思います。非なんもしたときもあり車の中  
でぬたときもありました。新潟県だけでなく  
世界中の災害にあ<sup>っ</sup>て苦しんでいる人の気持  
ちが改めてよくわかりました。地震後一番心  
に残<sup>っ</sup>ていることがあります。それは、学校  
の授業中地震がおこりめん<sup>な</sup>でグラウンドへ  
非なんしました。その時に食べた昼食のあの  
真<sup>っ</sup>白なおにぎりのことが今でも忘れられま  
せん。地震はいつおこるかわかりません。な  
のでいつくるかいつくるか<sup>と</sup>とてもこわいで  
す。しかし、日ごろから備えておくことはで  
きます。こわいからも元気よく生活していこう  
と思いました。